



みずたん

おおいたの水道

2017
夏号

7月1日発行 大分市水道局



安全でおいしい水を届けて90年

昭和2年7月、大分市水道が誕生しました



現在は三芳配水場

特集

90年の歴史を刻む おおいた市の水道

- 水道局優良建設工事施工業者
- 大口使用者等特別料金制度
- 29年度の水道事業会計予算
- おおいた水道フェスタ開催
- メーターボックスの管理
- 復旧支援の現場から



昭和2年創設時の三芳浄水場と水道要図

90年の歴史を刻む おおいた市の水道

昭和2年に誕生した大分市水道。大分市の発展を支えた90年のあゆみを、今号では創設から昭和40年代初頭まで紹介します。

創設 近代水道の誕生

大分市で最初に水道が通水したのは現在の大大分市中心部一帯です。大分市が市制を施行した明治44年当時は、生活用水のほとんどを井戸に頼っていました。その水質は悪質で飲用に適していなかったことから、赤痢や腸チフスなどの伝染病が多く発生していました。また、頻繁に発生していた火災の消火のためにも、大正元年頃から上水道の布設を望む声が高まっていました。しかし、財政上の問題や関東大震災の影響でなかなか実現しませんでした。

ようやく大正13年12月の市議会に上水道布設案が上程され、満場一致で可決されました。



三芳浄水場造成工事（大正時代）

その翌年、水源を大分川の伏流水とする事業に着手し、昭和2年に三芳浄水場が完成、同年7月10日に給水を開始しました。新聞には「5万市民は歓喜して祝福」と悪水の脅威から解放された喜びを伝えるており、これが大大分市近代水道の始まりです。



畑中ポンプ場全景（昭和2年）

戦後復興と第1次拡張事業

終戦後、人口の増加や戦災復興の建設が相次いだため、給水量は著しく増加、昭和25年に過去最高の一日最大給水量13500m³を記録しました。伸び続ける給水量に対処するため、26年に拡張工事の認可を受け、水源地、浄水場の増強工事と滝尾地区への配水管の布設等を主体とした第1次拡張事業に着手しました。しかし、財政事情の悪さや、昭和28年の大水害等のため、1年あまり遅れて昭和32年に完成しました。



新産業都市と第2次拡張事業

昭和32年に発表された大分・鶴崎臨海工業地帯建設計画によって企業が相次いで進出し、これに伴って人口は増加、水洗便所や水冷式クーラー等が普及するなど、水需要が急激に増大しました。このような中、昭和36年、光吉浄水場の新設を主体とした第2次拡張事業に取りかかりました。資金不足や諸物価の高騰などの影響を受け、幾度も工事及び事業費の見直しをして、3年の工期が、結局6年の月日を費やし、昭和42年3月に完成しました。



建設中の光吉浄水場（昭和38年）



滝尾駅付近の配水本管布設工事（昭和39年）



三芳浄水場拡張工事（昭和30年）

大分市水道局 優良建設工事 施工業者を表彰

水道局が発注し平成28年度に完成した配水管布設工事において、他の模範となる優れた工事の施工業者を表彰しました。

平成29年度受賞者
(株)国実水道
中央設備工業(有)

年 月	西暦	大分市水道90年のあゆみ（前期）
明治44年	1911	大分町が市制施行し大分市となる
大正元年頃	1912	水道布設の議起こる
大正14年4月8日	1925	水道布設認可
昭和2年7月10日	1927	【水道創設】給水開始（給水人口7,589人）
昭和21年11月	1946	戦災復興事業として水道の戦災復旧工事（5か年）
昭和28年6月26日	1953	豪雨による大分川氾濫のため水道施設に被害、断水発生
昭和32年8月	1957	第1次拡張事業工事完工（施設能力28,000m ³ /日）
昭和38年3月10日	1963	6市町村合併により新大分市発足
昭和40年5月31日	1965	光吉浄水場第2期工事完成（施設能力32,000m ³ /日）
昭和42年3月31日	1967	森岡山配水池第2期工事完成（容量10,430m ³ ） 第2次拡張事業工事完工（施設能力60,000m ³ /日）

お申込みはお済みですか？ たいへんお得な水道料金の 大口使用者等特別料金制度



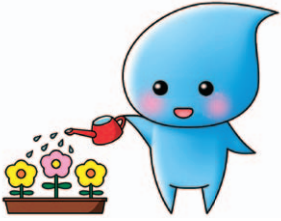
年間使用水量が、3000m³以上の大口使用のお客さまや地下水利用のお客さまには、基準水量を超えて使用した水道水を、安い単価で提供しています。

対象となるお客さま

- 地下水を使用しているお客さま
- 平成28年度に年間3000m³以上使用しているお客さま
- 平成29年度以降の年度において年間3000m³以上使用されたお客さま
- 平成29年度以降に新たに水道を使用開始し、年間3000m³以上使用が見込めるお客さま

使用水量等により水道局で把握できていないお客さまにつきましてはパンフレット等でご案内し、既に多くのお申し込みをいただいています。

地下水を利用して
いるお客さまや新たに
水道を使用開始し
制度適用の対象とな
ると思われるお客さ
まはお手数ですが水
道局までお問い合わせ
してください。



特別制度の料金

お客さまごとに基準となる水量（原則平成28年度に使用した水量）を設定し、この基準水量を超えて使用した分を1m³当たり

230円（税抜）でご提供いたします。

1m³当たり最大単価
385円（1か月50m³を超えて使用した部分）と比べると

155円（税抜）お安くになります。

お申込み方法

制度のご利用には、お申込みが必要です。

申請書は水道局窓口または、ホームページよりダウンロードできます。

詳しくは営業課 料金センター
にお問い合わせください。

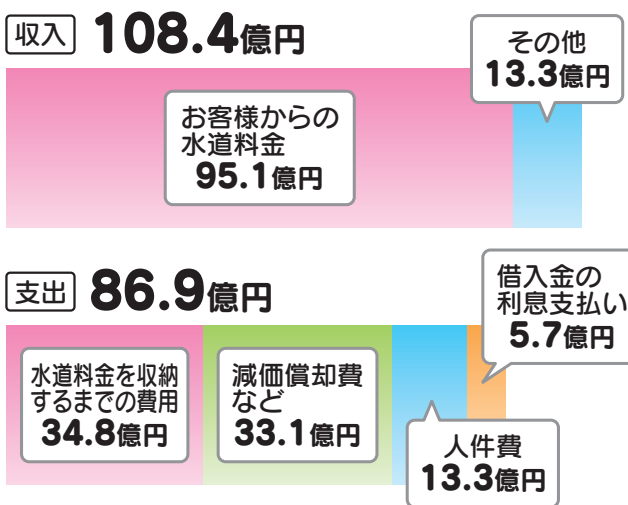
大分市水道局 大口使用者

お問い合わせ
営業課 料金センター
097-538-2416

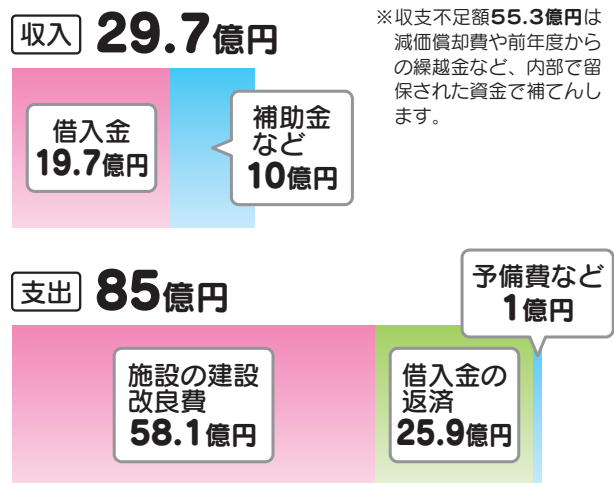
平成29年度 水道事業会計予算

水道事業会計は、お客さまから納めていただく水道料金を主な収入とし、水をきれいにする費用や施設の維持管理、更新、改良などの費用を主な支出としています。

水道水をつくるための予算（収益的収支）



施設をつくるための予算（資本的収支）



※収支不足額55.3億円は減価償却費や前年度からの繰越金など、内部で留保された資金で補てんします。

お問い合わせ 経営管理課 財政担当班 ☎097-538-2404

大分市水道局公式ツイッターを配信中!

アドレス

http://twitter.com/oita_suidou/



大分市水道局公式Facebookページ運用中!

アドレス

<http://www.facebook.com/OitaSuidou>



